



福小だより

【目指す子ども像】
自分を大切に
いろいろな考えがあることを認める子
自分で決めることができる子
決めたことをやりとげる子

学校教育目標「自分や他者を理解し受け入れ、相互協力しながら、問題を建設的に解決できる力の育成」

「森の教え、町の未来～ヒグマ騒動から考える持続可能な共生～」

校長 長 浦 紀 華

7月12日に校区内で発生したヒグマが人を襲った出来事は、福島町全体に大きな衝撃と深い悲しみをもたらしました。この事態を受け、町全域に「ヒグマ警報」が発出され、保護者の皆様には毎日の登下校時の送迎にご協力をいただくこととなりました。連日、お忙しい中であっても、子どもたちの安全を最優先に考え、送迎にご尽力くださった保護者の皆様に心から感謝申し上げます。皆様のご理解とご協力がなければ、学校としてこれほど迅速かつ的確な対応はできませんでした。本当にありがとうございました。

今回の痛ましい出来事は、私たち人間にとって、大きな悲しみと同時に、自然との関わり方について深く考えるきっかけを与えてくれました。ヒグマを「危険な存在」として捉えることは当然の感情ですが、その背景には何があるのか、多角的な視点から考えることもまた重要なことだと考えます。

先日、私は白神山地のブナ林を訪れました。ガイドさんの案内で散策する中で、改めて自然界の奥深さと、すべての存在が役割を担い、つながり合って生命を育んでいることを肌で感じました。例えば、寿命を終えて倒れた大木は昆虫たちの新たな住処となり、菌類が栄養を吸収し新しい命の糧となります。また、寿命が近い樹木にアリが巣を作り、内部を空洞化させることで、その木を倒れやすくすることもあるそうです。そして、大木が倒れることで、これまで日陰になっていた若い樹木に光が当たり、新しい世代が育つ場所が生まれるという、壮大な世代交代がなされます。まさに自然の摂理がそこにはありました。

私たちは、物事を「良い」「悪い」と二元的に捉え、判断しがちです。しかし、自然界の営みを見ると、一見ネガティブに見える出来事も、より大きなサイクルの中で見れば、次なる生命や変化のために必要なプロセスであることが分かります。

今回のヒグマ騒動も、単にヒグマを「排除すべきもの」と決めつけるだけではなく、なぜヒグマが人里に近づくようになったのか、私たちの生活環境の変化や、ヒグマの生息環境の変化等、様々な要因が複雑に絡み合っている可能性を視野に入れることが必要です。ゴミステーションをヒグマがあさるといった被害も、ヒグマが人里に近づく要因の一つとして、人間の出すゴミが餌となっている可能性を示唆しています。このことは、私たちの日々の行動が、巡り巡ってヒグマの行動に影響を与え、ひいては私たちの生活に返ってくるという、自然界のつながりにも通じるのではないのでしょうか。つまり、ゴミの出し方のマナーやルールの徹底は、単なる生活習慣の問題ではなく、ヒグマと人間との関係性を考える上で重要な視点であり、より広い意味での「共生」に向けた一歩とも言えます。

人間とヒグマ、そして自然とのより良い関係性を築いていくためには、短期的な対策だけでなく、長期的な視点での解決策を探ることが重要となります。ブナ林での学びのように、あらゆる生命が互いに作用し合い、巡り巡って全体を形成しているという視点は、この難しい課題を乗り越えるヒントになるのではと考えています。

そして、この悲しい経験を単なる「怖い出来事」として終わらせるのではなく、私たち自身の生き方、自然との関わり方を見つめ直し、子どもたちと共に学びを深めていきたいと考えております。

また、人命の安全確保が何より大切なことは申し上げるまでもありません。学校といたしましては、今回の件を受けて、子どもたちへの安全教育をさらに強化するとともに、より実践的な防災教育に努めてまいります。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。

読書習慣の形成に向けて

7月8日(火)に、児童が本に親しみながら読書習慣を形成することを目的に、町教委主催の「ブックフェスティバル」が福祉センターで開催されました。1～3年生は「おはなしかい」と題した読み聞かせ、4～6年生は「本 de リング」と題したお気に入りの本を紹介し合う活動に参加しました。また、集会室に並べられた多くの本の中から、一人10冊まで選んで借りることができ、児童は目を輝かせながら気になる本をたくさん借りていました。



授業力向上を目指して

本校ではより良い授業を行うために、7名の教諭が道教委の「授業改善プロジェクト」に取り組んでいます。年3回実施する公開授業の1回目を7月2日(水)に行い、渡島教育局から2名の先生にお越しいただいて指導助言を受けました。今後も児童の「わかる」「できる」を引き出す授業づくりに取り組んでまいります。



電気の不思議に迫る

7月14日(月)に、北電福島ネットワークの御協力を得て、4年生を対象に「ほくでんエネルギー教室」を実施しました。当初、外での活動を予定していましたが、ヒグマ警報が発出されていたことから、一部内容を縮小し教室で実施しました。どのように電力が作られるのかについて、実験を通して、学ぶことができました。児童は太陽光で動くおもちゃ作りなどに楽しみながら取り組んでいました。



8月 行事予定

日	曜日	主な行事	日	曜日	主な行事
5	火	開校記念日	25	月	特別日課4時間授業・全校朝会・職員会議
11	月	山の日	26	火	1年生4時間授業・2年生5時間授業・学級文庫交換
12	火	学校閉庁日	27	水	1年生4時間授業・2～6年生5時間授業
13	水	学校閉庁日	28	木	1・2年生4時間授業・水泳学習(1・2年、5・6年)
14	木	学校閉庁日	29	金	水泳学習(3・4年)・非常時下校訓練
15	金	学校閉庁日			

【お知らせ】

- ・「ヒグマ注意報」が発出されていることから、7月28日・29日に予定していたサマーラーニングを中止といたします。
- ・夏休み中の連絡は、学校にお電話(47-2004)ください。
- ・学校閉庁日や休日に緊急な事案が発生した場合は、安心メールの「欠席遅刻届け」を使ってご連絡ください。
- ・役場福祉課からいただいた歯ブラシを、児童一人に一本配付しています。虫歯予防にお役立てください。
- ・夏休み中は、家庭で過ごす時間が長くなります。熱中症や事故などの防止に向け、御家庭でお子様に対し、健康安全面の指導を徹底願います。